



平成 28 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代表者名 代表取締役社長 河南 雅成
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 谷 匡 治
(TEL. 03-3517-1353)

営業外収益の計上に関するお知らせ

当社はこの度、平成 25 年 8 月 12 日付プレスリリースでお知らせいたしました「低コスト及び低副作用を目指す核酸医薬品－抗体コンジュゲート（NAC）、及びペプチド性細胞毒性化合物－抗体コンジュゲート（PAC）バイオベターの生産技術の開発」に係る補助金収入として、下記のとおり営業外収益を計上することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上額

補助金収入 20,000,000 円

2. 本事業の状況

本事業は、平成 25 年 8 月に経済産業省の平成 25 年度「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発（国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術）」補助事業に採択され、以来 3 年間にわたり研究開発を行ってまいりました。最終年度である 3 年目の平成 27 年度分からは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（略称：AMED）に委託事業として引き継がれて現在に至っております。当社は、当該事業の補助金額について平成 28 年 10 月 31 日付確定通知書に基づき、平成 29 年 3 月期第 3 四半期において補助金収入として営業外収益を計上するものであります。

がん治療は、分子標的薬や抗体医薬品等の出現により、治療効果が飛躍的に改善したものの、抗体医薬品単体では治療効果が不十分なことも多く、低分子化合物との併用投与が一般的な治療となっております。近年、抗体医薬品ががん細胞と結合する仕組みを利用し、がん細胞のみを破壊する作用を持たせた抗体薬物複合体の開発が盛んに行われていますが、正常組織に対しても毒性を示すなど、多くの課題を残しております。

本事業は、このような従来の抗体薬物複合体が持つ副作用をより低減させるための新たな試みとして核酸医薬品－抗体コンジュゲート（NAC）、及びペプチド性細胞毒性化合物－抗体コンジュゲート（PAC）の創製に取り組むものであり、平成 27 年度の研究開発活動の結果、当該バイオコンジュゲー

ト抗がん剤の試作品開発に成功いたしました。当社は、今後も引き続き、当該試作品の実用化に向けて開発を進めてまいります。

3. 今後の見通し

本件による当社業績への影響は、平成 29 年 8 月 5 日付で公表しました平成 29 年 3 月期業績予想に織り込んでおります。

以 上